



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場会社名 名鉄運輸株式会社 上場取引所名  
 コード番号 9077 URL http://www.meitetsuunyu.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米原 浩一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 小島 康史 (TEL) (052) 935-5721  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	46,139	9.9	1,266	△20.3	1,300	△17.1	505	△40.0
24年3月期第2四半期	41,974	△1.2	1,589	3.4	1,569	3.2	842	116.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 444百万円(△42.0%) 24年3月期第2四半期 766百万円(173.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	20 80	—
24年3月期第2四半期	34 66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	79,178	12,558	14.9
24年3月期	80,212	12,215	14.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 11,813百万円 24年3月期 11,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0 00	—	2 50	2 50
25年3月期	—	0 00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2 50	2 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,000	4.8	2,700	△15.4	2,500	△19.3	1,200	△43.1	49 38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、用式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	24,402,991株	24年3月期	24,402,991株
25年3月期2Q	104,635株	24年3月期	102,056株
25年3月期2Q	24,299,558株	24年3月期2Q	24,303,385株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務問題の深刻化、新興国経済の減速、円高進行など不透明要因が山積し、外需の景気けん引力に期待が見込めない中、復興需要の本格化による官公需や住宅投資の増加、エコカー購入支援策などによる内需の堅調な推移に支えられて、当初の景気は回復基調を持続していました。しかしながら後半は、海外経済の減速感の強まりを受けて国内生産が減少、企業の設備投資に対する慎重姿勢も継続し、さらには新興国経済の一層の減速を背景に、景気は下振れ局面へと転じました。

物流業界におきましても、輸送量は緩やかに増加に転じましたが、夏場以降は個人消費にも陰りがみられ、今夏の天候不順による小売業の売上低迷の影響もあり、同業者間の競争に加えて、お客様からの物流コスト削減要請も一層強まるなど極めて厳しい状況で推移しました。

当社グループでは、このような状況に対し、平成24年度を初年度とする新中期経営計画の基本戦略である「混載事業の差別化と最適サービス提供による収益力の強化」及び「グループ総合力の向上」に沿って、各社の営業・業務力と連携強化を図る施策を展開しました。

営業面におきましては、グループ各社が得意とする営業・業務ノウハウを総合し、顧客分析・業務設計を行ってお客様に提案することで営業を深化させ、グループ全体での取引拡大を図りました。

業務面におきましても、既存施設のグループ間有効利用や、グループ内で重複する集配エリアを解消する施策に取り組み、店舗の統合や共同配送化などを行いました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、昨年10月に四国名鉄運輸㈱とその子会社5社を連結子会社化した効果もあって、前年同四半期比9.9%増の46,139百万円となりましたが、人件費や委託料などの増加もあって、営業利益は前年同四半期比20.3%減の1,266百万円に止まりました。経常利益は前年同四半期比17.1%減の1,300百万円となり、投資有価証券評価損を計上するなど特別損失が増加したことなどにより、四半期純利益は前年同四半期比40.0%減の505百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

## (貨物自動車運送事業)

貨物自動車運送事業における「路線事業」では、日用品や食料工業品などの消費関連貨物が堅調に推移しましたが、今夏の天候不順の影響もあり、期半ばから輸送量にも陰りが見え始め、運賃単価も引き続き下落基調が続きました。その中で、グループの輸送ネットワークを生かした積極的な営業展開により貨物輸送量は増加しました。「区域事業」では、主要荷主である家電メーカー及び自動車関連企業の不振の影響もあり収入は悪化、「引越事業」でも、遠距離引越やイベントの減少に加え、同業者との運賃競争が激化し、収入は悪化しました。

以上の結果、四国名鉄運輸㈱とその子会社5社を連結子会社化した効果もあって、売上高は前年同四半期比11.2%増の39,999百万円となり、売上総利益は前年同四半期比7.8%増の2,799百万円となりました。

## (航空利用運送事業)

航空利用運送事業では、主力の音楽関係、電子部品等の主要顧客の売上げが振るわず、貨物量が減少した一方で、四国名鉄運輸㈱の航空部門の統合による効果もあり、売上高は前年同四半期比5.1%増の4,097百万円となりました。一方で店舗の統廃合を進めたことで経費が嵩み、売上総利益は前年同四半期比35.3%減の156百万円となりました。

## (流通事業)

流通事業では、顧客別物流品質管理を徹底し品質向上を図ることで、顧客確保と新規拡大に積極的に取り組みましたが、前年実績を確保することはできず、売上高は前年同四半期比1.2%減の2,805百万円となり、売上総利益は前年同四半期比22.3%減の278百万円となりました。

## (その他)

その他の事業では、遊休資産の有効活用に引き続き努めた結果、売上高は前年同四半期比16.3%増の62百万円となり、売上総利益は前年同四半期比24.5%増の45百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## [資産の部]

流動資産は、前連結会計年度に比べて827百万円減少し、14,838百万円となりました。これは、受取手形及び営業未収入金が783百万円、現金及び預金が114百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度に比べて206百万円減少し、64,339百万円となりました。これは、時価の下落などにより投資有価証券が255百万円減少したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度に比べて1,034百万円減少し、79,178百万円となりました。

## [負債の部]

流動負債は、前連結会計年度に比べて925百万円増加し、44,945百万円となりました。これは、未払法人税等が539百万円、支払手形及び営業未払金が366百万円減少したことなどに対し、1年内返済予定の長期借入金が1,109百万円、短期借入金が669百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度に比べて2,302百万円減少し、21,674百万円となりました。これは、長期借入金が2,308百万円減少したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べて1,376百万円減少し、66,620百万円となりました。

## [純資産の部]

純資産合計は、前連結会計年度に比べて342百万円増加し、12,558百万円となりました。これは、主として利益剰余金が493百万円増加したことなどによります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、景気の減速に対する懸念があるものの、先行き不透明な状況である事と、当第2四半期連結累計期間の業績が概ね予定通りであった事を踏まえ、平成25年3月期の通期業績予想につきましては、平成24年5月10日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

なお、今後、業績予想に大きな変化がある場合には適時に開示してまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	600	486
受取手形及び営業未収入金	13,707	12,923
有価証券	2	2
貯蔵品	180	184
繰延税金資産	351	411
その他	925	925
貸倒引当金	△101	△94
流動資産合計	15,666	14,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,753	35,640
減価償却累計額	△23,554	△23,806
建物及び構築物(純額)	12,199	11,834
機械装置及び運搬具	23,950	24,827
減価償却累計額	△17,558	△17,902
機械装置及び運搬具(純額)	6,392	6,925
土地	38,393	38,245
リース資産	1,357	1,357
減価償却累計額	△776	△893
リース資産(純額)	581	463
建設仮勘定	—	133
その他	1,268	1,290
減価償却累計額	△1,018	△1,036
その他(純額)	249	253
有形固定資産合計	57,815	57,856
無形固定資産		
リース資産	243	180
その他	413	414
無形固定資産合計	656	595
投資その他の資産		
投資有価証券	2,285	2,030
長期貸付金	79	79
繰延税金資産	1,313	1,382
その他	2,465	2,451
貸倒引当金	△70	△54
投資その他の資産合計	6,073	5,887
固定資産合計	64,545	64,339
資産合計	80,212	79,178

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	9,138	8,771
短期借入金	21,110	21,779
1年内返済予定の長期借入金	7,065	8,174
リース債務	365	311
未払法人税等	1,261	721
賞与引当金	258	298
その他	4,820	4,887
流動負債合計	44,019	44,945
固定負債		
長期借入金	12,469	10,160
リース債務	410	277
繰延税金負債	317	315
退職給付引当金	7,218	7,429
役員退職慰労引当金	150	131
資産除去債務	578	583
再評価に係る繰延税金負債	2,396	2,366
その他	435	409
固定負債合計	23,976	21,674
負債合計	67,996	66,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,065	2,065
資本剰余金	1,534	1,534
利益剰余金	5,942	6,435
自己株式	△20	△20
株主資本合計	9,523	10,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173	85
土地再評価差額金	1,760	1,711
その他の包括利益累計額合計	1,933	1,797
少数株主持分	758	744
純資産合計	12,215	12,558
負債純資産合計	80,212	79,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	41,974	46,139
売上原価	38,797	42,910
売上総利益	3,176	3,228
販売費及び一般管理費		
人件費	862	1,052
施設使用料	254	299
その他	470	610
販売費及び一般管理費合計	1,587	1,962
営業利益	1,589	1,266
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	40	41
持分法による投資利益	—	6
受取手数料	34	33
補助金収入	4	78
貸倒引当金戻入額	50	1
その他	71	55
営業外収益合計	202	218
営業外費用		
支払利息	206	173
持分法による投資損失	0	—
その他	15	11
営業外費用合計	222	184
経常利益	1,569	1,300
特別利益		
固定資産売却益	40	74
負ののれん発生益	—	26
その他	0	7
特別利益合計	41	108
特別損失		
固定資産処分損	11	29
減損損失	11	59
投資有価証券評価損	—	171
割増退職金	48	—
その他	13	7
特別損失合計	85	268
税金等調整前四半期純利益	1,525	1,141
法人税、住民税及び事業税	738	758
法人税等調整額	△56	△154
法人税等合計	682	604
少数株主損益調整前四半期純利益	842	537
少数株主利益	0	31
四半期純利益	842	505



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	842	537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76	△92
その他の包括利益合計	△76	△92
四半期包括利益	766	444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	766	417
少数株主に係る四半期包括利益	0	26

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,525	1,141
減価償却費	1,366	1,574
減損損失	11	59
負ののれん発生益	—	△26
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△70	△22
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19	40
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	118	210
受取利息及び受取配当金	△41	△43
支払利息	206	173
持分法による投資損益 (△は益)	0	△6
固定資産除却損	3	4
固定資産売却損益 (△は益)	△33	△72
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	171
売上債権の増減額 (△は増加)	105	799
仕入債務の増減額 (△は減少)	△61	△366
その他	△258	△250
小計	2,891	3,386
利息及び配当金の受取額	41	43
利息の支払額	△206	△172
特別退職金の支払額	△48	△106
法人税等の支払額	△517	△1,290
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,160	1,861
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△639	△1,403
有形固定資産の売却による収入	124	244
無形固定資産の取得による支出	△6	△27
投資有価証券の取得による支出	△7	△8
貸付けによる支出	△1	△1
貸付金の回収による収入	2	1
子会社株式の取得による支出	—	△8
その他	59	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△468	△1,187
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,474	669
長期借入れによる収入	2,150	1,360
長期借入金の返済による支出	△1,912	△2,559
リース債務の返済による支出	△149	△188
配当金の支払額	△48	△60
少数株主への配当金の支払額	—	△5
その他	△4	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,439	△787
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	252	△114
現金及び現金同等物の期首残高	303	554
現金及び現金同等物の四半期末残高	555	440

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等  
【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	貨物 自動車 運送事業	航空利用 運送事業	流通事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	35,341	3,764	2,815	41,920	53	41,974	—	41,974
セグメント間の内部 売上高又は振替高	619	136	22	778	—	778	△778	—
計	35,961	3,900	2,838	42,699	53	42,753	△778	41,974
セグメント利益	2,596	241	358	3,197	36	3,234	△57	3,176

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	貨物 自動車 運送事業	航空利用 運送事業	流通事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	39,258	4,033	2,783	46,076	62	46,139	—	46,139
セグメント間の内部 売上高又は振替高	740	63	21	825	—	825	△825	—
計	39,999	4,097	2,805	46,901	62	46,964	△825	46,139
セグメント利益	2,799	156	278	3,234	45	3,280	△52	3,228

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。